

BeFine!

第49期

第3四半期株主通信

2015年4月1日～2015年12月31日

証券コード 6869

まもる君と学ぶ！検査の最前線 ③ 5ページ

尿検査



豫園(中国・上海)

二桁増収となった海外を中心に、 大幅な増収・増益を達成しました。

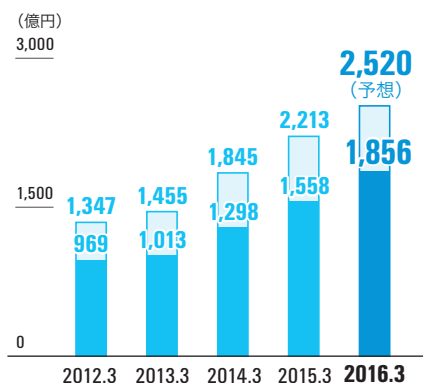
第49期
第3四半期の
ポイント

ポイント
1 中国・EMEA*を中心に、
海外の全ての所在地で二桁増収を達成

ポイント
2 増収効果に加え、円安(ドル・元)の
影響もあり利益が大幅に増加

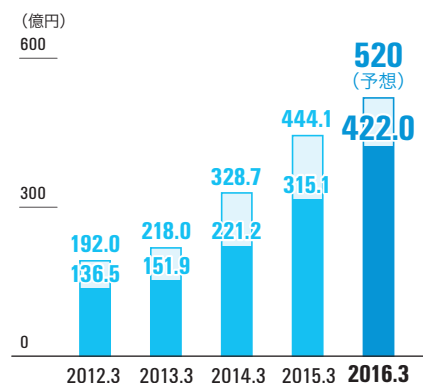
売上高

19.1% 増
(前年同期比)



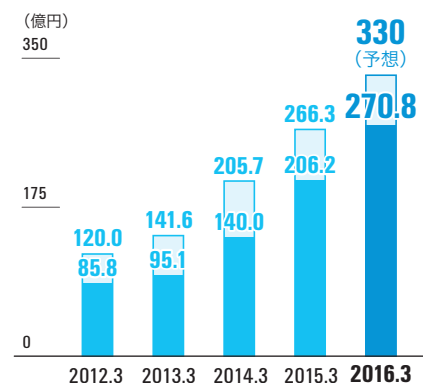
営業利益

33.9% 増
(前年同期比)



四半期(当期)
純利益

31.4% 増
(前年同期比)



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2016年3月期 第3四半期の業績は、海外を中心に売上が伸長し、大幅な増収を達成しました。また、増収効果に加え、ドル、元における円安の影響もあり、利益が大幅に増加しました。売上高は前年同期比19.1%増、営業利益は同33.9%増、経常利益は同23.9%増、四半期純利益は同31.4%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比14.6%増、営業利益は同8.8%増となります。

国内は、機器の設置台数の増加に伴い、試薬とサービスの売上が伸長し、堅調に推移しました。海外は、ヘマトロジー分野*や血液凝固検査分野を中心に売上が好調に推移し、全ての所在地で二桁増収を達成しました。特に中国では、ヘマトロジー分野や血液凝固検査分野、免疫検査分野において機器の売上が増加し、売上高が前年同期比40.0%増と大幅に伸長しました。これにより、当社グループの海外売上高比率は84.7%となりました。

なお、2016年3月期通期の連結業績予想に関しては、2015年11月公表から変更はありません。

当社は、2016年1月に栄研化学株式会社と海外市場における尿定性検査事業について提携し、自社ブランド初となる新製品、全自動尿化学分析装置「UC-3500」と専用の尿定性試験紙の海外市場での販売を開始します(特集ご参照)。今後も付加価値の高い検査を提供し、尿検査分野におけるグローバルNo.1の地位を目指します。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

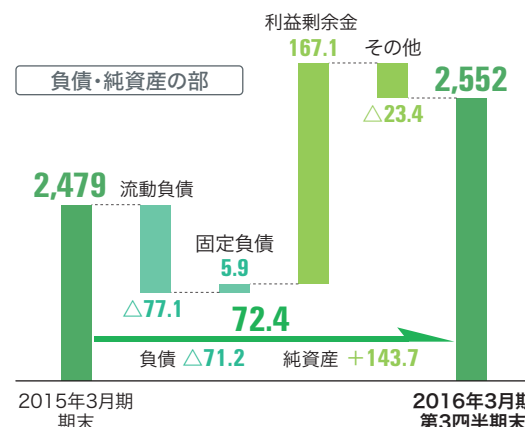
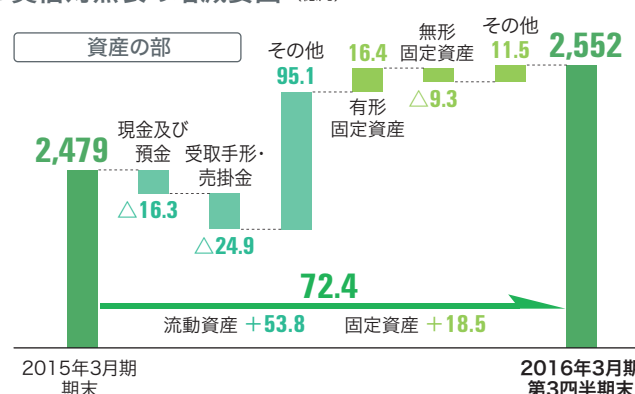
久次恒

いえつぐ ひさし

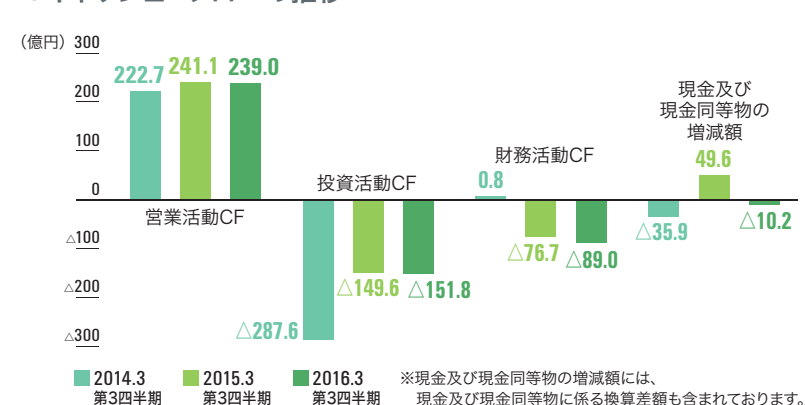
【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亞医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。

【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

●貸借対照表の増減要因 (億円)



●キャッシュ・フローの推移



ウェブサイトのご案内

ホームページをリニューアルしました!



シスメックスのことがよく分かるコンテンツが満載!

スマートフォンでも見やすいデザインに!

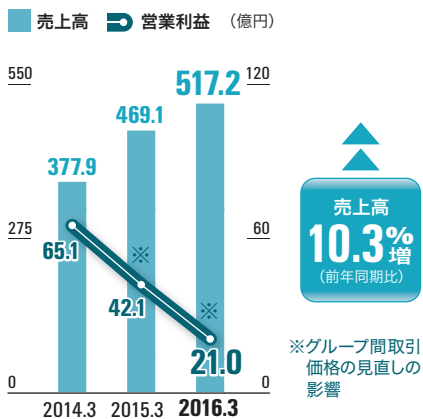
ぜひご覧ください! www.sysmex.co.jp

所在地別
セグメント

〔為替レート(期中平均)〕 (円)

	2014年 3月期 第3四半期	2015年 3月期 第3四半期	2016年 3月期 第3四半期
1USドル	99.4	106.9	121.7
1ユーロ	132.2	140.3	134.4

EMEA*

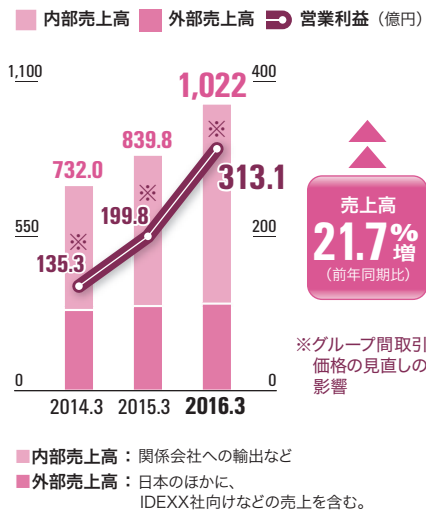


現地通貨ベース 売上高 15.1% 増 (前年同期比) 営業利益 47.9% 減 (前年同期比)

- 1 主要5カ国※をはじめ、全地域でヘマトロジー分野*などが伸長したことにより、増収となりました。
- 2 増収となるも、グループ間取引価格の見直しの影響や子会社の営業費用の増加により、減益となりました。

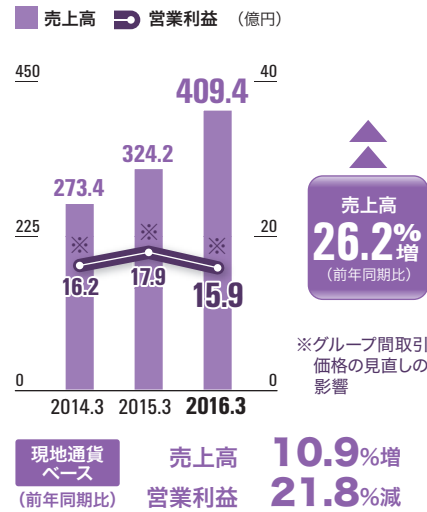
※ドイツ、イギリス、フランス、スペイン、イタリア

日本



- 1 日本市場は試薬などの売上が増加しましたが、横ばいとなりました。
- 2 海外関係会社向けの内部売上の増加や、グループ間取引価格の見直しの影響により、増収・増益となりました。

米州

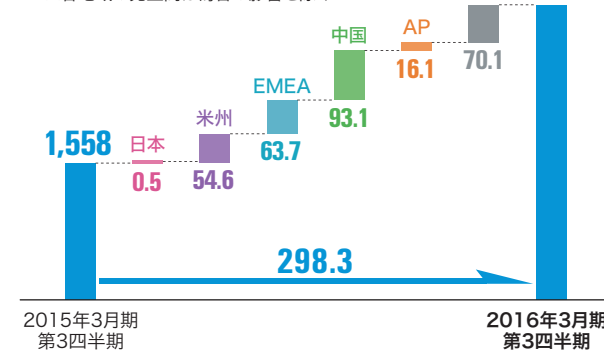


- 1 XNシリーズの販売好調に加え、中南米も伸長し、増収となりました。
- 2 前年同期のサービス繰延収益の取り崩しの影響および販売・サービス活動の強化に伴う費用の増加などにより、減益となりました。

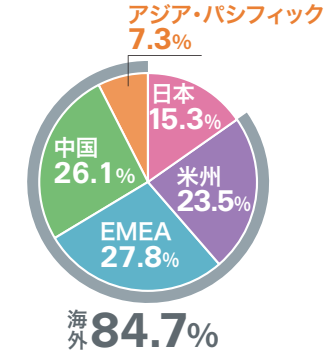
地域別・事業別セグメント

●地域別売上高の増減要因 (億円)

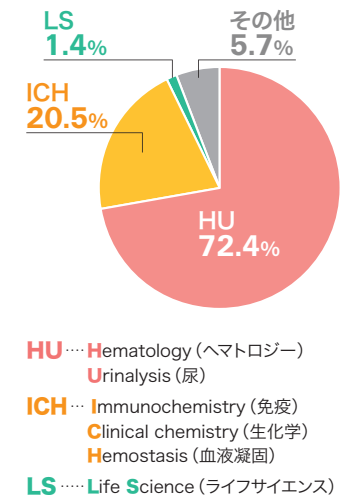
※各地域の売上高は為替の影響を除く



●地域別売上高構成比



●事業別売上高構成比



グローバル レポート

需要が増す中国で高成長を継続

人口が13億人を超える中国では、経済発展に伴い医療への関心や需要が高まっています。また、人口増加の影響で急速に高齢化が進み、政府主導で医療環境の整備が進められています。

このような市場の成長性を見据え、シスメックスは1990年代から拠点の整備を本格化し、他社に先駆けて事業基盤を構築してきました。現在では、170社以上の代理店と連携しながら、広大な中国全土をカバーする販売・サービス&サポート網を形成しています。

また、生活習慣の変化などにより、近年は中国でも心疾患や肝炎の患者数が増加し、免疫検査の需要が高まっています。そこで当社は2014年から中国において免疫検査事業を本格化し、主力のヘマトロジー分

野*で培ったブランド力を活かして製品の導入を進めています。このように、中国ではヘマトロジー分野に加え、免疫・血液凝固・尿・生化学検査の分野でも製品・サービスを総合的に提供し、高成長を続けています。

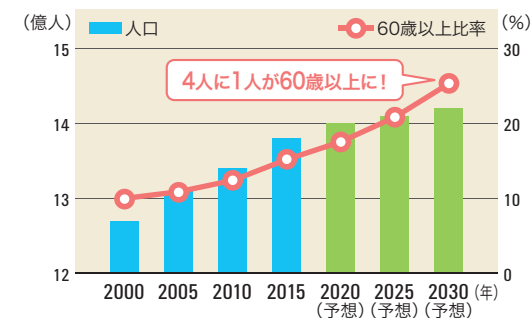
さらに、検査の普及に向け、医療関係者を対象とした学術啓蒙活動も推進しています。2015年11月に開催した「第18回中国学術セミナー」には、中国全土から1,300名以上の方々にご参加いただきました。



今後も中国の医療の発展とともに、成長を続けていきます。

「第18回中国学術セミナー(上海)」の様子

●中国の人口と高齢者率の推移



出典: United Nations, World Population Prospects: The 2015 Revision



今回のテーマ 尿検査

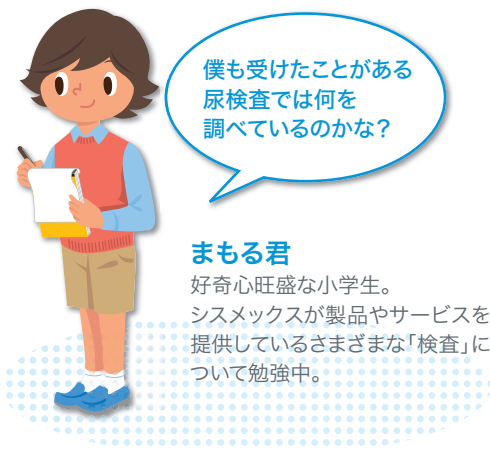
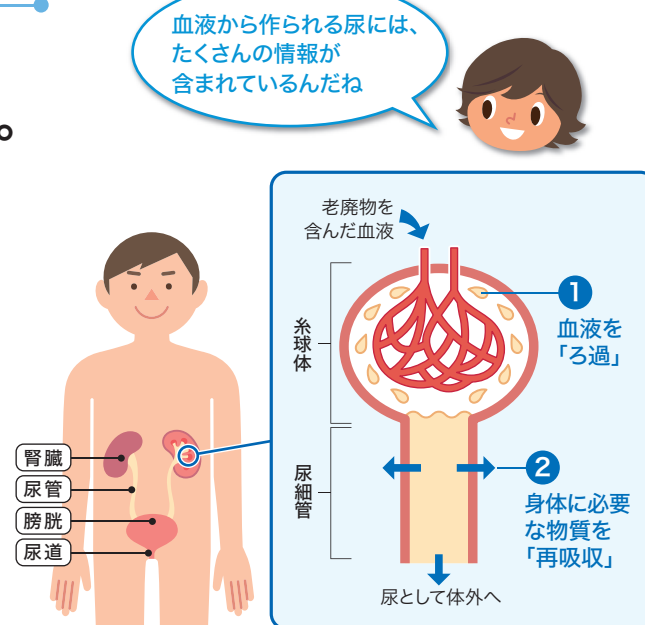
シスメックスが製品やサービスを提供しているさまざまな検査について解説する当シリーズ。第3回は、病気の早期発見や治療の第一歩として広く行われている「尿検査」についてご紹介します。

Q なぜ尿を調べるの？

A 身体の状態について、多くの情報が得られるからです。

尿は腎臓で作られます。腎臓には血液から老廃物などを取り除く役割があり、全身をめぐる血液は腎臓で「ろ過」され、尿として排泄されます。しかし、単にろ過するだけでは、ブドウ糖やタンパク質など、身体に必要な物質まで流れ出てしまいます。このため、腎臓はろ過をした後、身体に必要な物質を再吸収する機能も備えています。

腎臓が正常に働いていると、尿の中にブドウ糖やタンパク質はほとんど含まれません。しかし、腎臓や泌尿器系の臓器に異常があると、尿の中に本来含まれるはずのないものが出てきます。また、病気などで身体に異常がある場合も、その変化はいち早く尿に現れます。このように、尿からは身体について多くの情報が得られます。



Q どのように検査をするの？

A 「尿定性検査」と「尿沈渣検査」の2種類の方法があります。

尿検査には一次的な検査として行われる「尿定性検査」と、尿定性検査で陽性的場合により詳しく分析する二次的な検査の「尿沈渣検査」があります。「尿定性検査」は、採取した尿に試験紙を浸して色の変化を見る検査で、尿にどのような成分が含まれているかを調べます。一方、「尿沈渣検査」は、尿の中に沈殿した赤血球や白血球などの細胞成分を観察し、正常時より増えていないか、本来含まれるはずのないものはないかなどを調べます。

尿は苦痛を伴わず、繰り返し採取できます。そのため尿検査は、患者さんの負担の少ない検査として、世界中の多くの病院で日常的に行われています。

1 尿定性検査
尿にどのような成分が含まれているか調べる

- ブドウ糖（尿糖） ●タンパク質（尿蛋白）
- 尿潜血 など

陽性的場合は…

2 尿沈渣検査
尿の中の有形成分を詳しく調べる

- 赤血球 ●白血球 ●細胞 ●細菌 など

尿は簡単に採取できるから身体に負担をかけずに、検査ができるんだね



◆ シスメックスの取り組み ◆

「尿沈渣検査」に加え、「尿定性検査」の分野でも 自社ブランド製品の販売を海外市場で開始

尿検査は全身の情報を得られるうえに、身体的、経済的な負担が少ないため、新興国では医療環境の整備に伴い検査数が増加しています。また、先進国に加え新興国でも糖尿病腎症による人工透析の必要な患者さんが増えており、糖尿病腎症の初期診断に用いる尿検査の需要が高まっています。

当社は、尿の中の有形成分を自動で分析できる装置を開発し、尿沈渣検査の効率化・標準化に貢献してきました。1995年には、世界で初めて尿に特殊なレーザー光を当てて分析する独自の技術で尿沈渣検査を全自動化した「UF-100」を発売。2015年9月に発売した「UF-5000/4000/3000」では、従来よりさらに多くの項目の測定が可能となり、精度を向上させています。

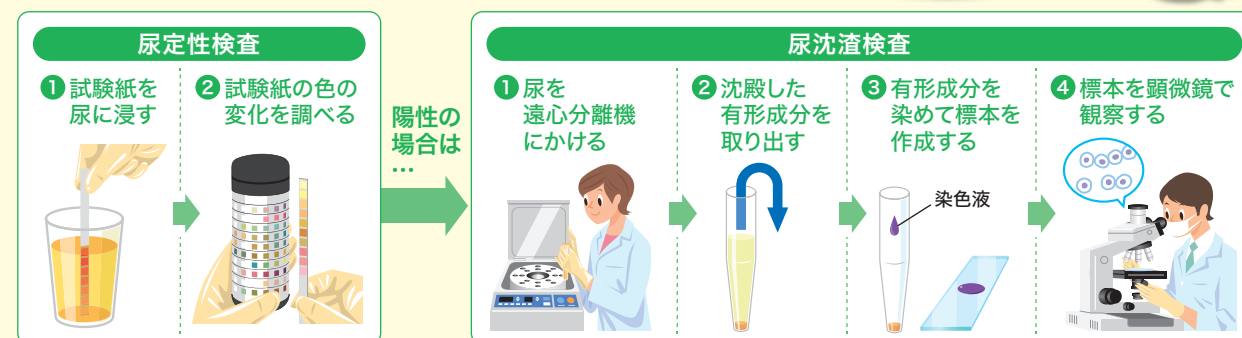
一方、尿定性検査については、他社と提携して販売協力などを行ってきましたが、2016年1月に栄研化学株式会社と提携し、自社ブランド初となる全自動尿化学分析装置「UC-3500」と専用の尿定性試験紙の販売を海外市場で開始します。「UC-3500」と「UF-5000/4000/3000」はともにモジュラーコンセプト*を採用しており、両製品を組み合わせることで、多様な尿検査のニーズにお応えできるようになりました。また、尿検査の結果を一括管理するシステムもあわせて提供しています。

今後も価値ある製品を提供し続けることにより、尿検査分野におけるグローバルNo.1のポジションを目指します。

こんなにたくさんの仕事を機械に任せられるんだね



■ 従来の検査方法との比較



*モジュラーコンセプト：個々の製品を自由に組み合わせることで、多様なバリエーションを生み出すことができ、お客様のご要望に合わせた提案が可能です。



オープンイノベーションラボを開設

個別化医療の実現に向けた研究開発を加速させるため、研究開発拠点「テクノパーク」内にオープンイノベーションラボを開設しました。ラボには遺伝子やタンパク質の情報を解析するための最先端の実験設備や、研究者の交流を促すオープンな環境を整えています。今後は世界中の研究者を招き、国内外の研究者とのコラボレーションにより、先進的で価値の高い検査・診断技術の創出を目指します。



ラボの内部

アメリカの試薬生産工場を拡張

当社は国内2工場、海外7工場で試薬を生産し、世界中のお客様へ安定的にお届けしています。近年では兵庫県の小野工場のほか、中国、シンガポール、ドイツの試薬生産工場を順次拡張し、試薬の供給体制を強化してきました。このたび、米州における試薬の需要増加に対応するため、アメリカの試薬生産工場の拡張に着手しました。生産能力を従来の1.6倍に増強し、2017年6月の完成を目指します。



アメリカの試薬生産工場の完成イメージ

2015年度「IR優良企業大賞」を受賞

「IR優良企業賞」は、日本IR協議会が、IRの趣旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果を上げた企業を選び表彰するものです。当社の今回の受賞は2004年度（IR優良企業奨励賞）、2006年度（IR優良企業賞）、2011年度（IR優良企業賞）に続き4回目、で、「IR優良企業大賞」は初の受賞です。



表彰式の様子



ディスクロージャーおよび個人投資家向け情報提供における優良企業に選定

「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」（2015年度）において、「業種別部門（医薬品）」および「個人投資家向け情報提供における優良企業」の第1位に選ばれました。「個人投資家向け情報提供における優良企業」は4年連続4回目、「業種別部門（医薬品）」では初の第1位となります。



今後も公平、迅速、正確で分かりやすい情報開示に努めてまいります。

会社概要

（2015年12月31日現在）

■商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
■設立年月日 1968年2月20日
■資本金 109億1,218万円

■格付け A+（R&I: 格付投資情報センター）
■従業員数 7,407名（連結）2,520名（単独）
※嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会 6月
■基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

■上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
■証券コード 6869
■単元株式数 100株
■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先（郵便物送付先・電話照会先）
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777（通話料無料）

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。